



## サローネサテリテ：唯一無二のチャンス

若手デザイナーの登竜門で知られるサローネサテリテは今年で 19 回目を迎える。今年には新しい素材が目立つ。会期中通して一般開放。カーゴ 4 番からは無料で入場できます。

若者に初めてチャンスを与えたイベントは、企業にとっての才能あるデザイナーのスカウトの場となりました。今年も 4 月 12 日から 17 日まで、ロー・フィエラミラノにて Salone del Mobile.Milano と同時開催します。

今年も未来を見据えるサローネサテリテでは、**New Materials > New Design** と題し、新素材を求めサイエンスへの挑戦を披露します。

巨大な本棚が素材のライブラリーと化します。膨大な革新的素材を提供するのは、ヨーロッパ有数の素材開発リサーチセンター。バルセロナの **Materfad**、イタリア・マテリアル・コネクション、プラハの **matériO/ハッピー・マテリアル**、ロンドンの**クリス・レフテリ・デザイン**、ミュンヘンの**マテリアル・スカウト**、アンコーナの **Matrec**、その他、素材開発に取り組む多くの企業やデザイナー。

4 月 14 日(木)15 時より、15 号館サローネサテリテ アリーナに於いて、これらのリサーチ・ハブから代表者が集まりディスカッションを開催します：

Valérie Bergeron Materfad Barcelona (ES), Christine Vroom Het Nieuwe Instituut (NL), Lucie Havlova matériO Prague/Happy Materials (CZ), Elodie Ternaux matériO/Happy Materials (FR), Christian Tubito Material Connexion (IT), Mette Bak Andersen Material Design Lab, Copenhagen School of Design & Technology, KEA. (DK), Efrat Friedland materialscout (DE), Carole Collet Central Saint Martins, University of the Arts London (UK)

革新的素材は、木材、プラスチック、ガラス、メタル、ファブリック、大理石といったクラシック素材に敬意を払い、それらの素材を使用して Salone del Mobile 出展社が巨大トーマ彫刻を制作。

サローネサテリテ参加者の選考委員はデザイン、プロジェクト、コミュニケーション界で国際的に名高いメンバーで構成されています：

チンツィア・バルデッリ：ラ・リナシェンテ；  
ギー・クロード Agboton, IDEAT のデザイン部長；  
ベッペ・フィネッシ：デザイン批評家；  
ロレンツォ・トンチェッリ：Toncelli Cucine；  
ルイーザ・コッリーナ：Cumulus President, ミラノ工科大学；  
マヌエラ・メッシーナ：Flou；  
ミア・ピッツィ：Abitare デザイン部長；  
ステファノ・プレスカシン：Milldue；  
トンマーゾ・ナーニ：デザイナー -  
委員長 マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー：  
サローネサテリテ キュレーター及び創設者

数千の応募プロジェクトからセレクトされた 650 プロジェクトが、第 19 回サローネサテリテに展示されます。サローネサテリテが唯一無二の若手デザイナー登竜門であり続け、より多くの有能な若手デザイナーに将来のチャンスを与えるべく、**選考プロセス**は常に**大変厳しい審査基準**に乗っ取って行われます。また、サローネサテリテでは、海外から選ばれたデザイン学校も参加します。

第 7 回サローネサテリテ・アワードは、今年の隔年開催見本市のカテゴリー - エウロクチャーナとサローネ国際バスルーム見本市- に準じた作品が対象となります。

審査委員はデザイン界で世界的に名を馳せる以下のメンバーで構成されています：

アンドレア・モルテーニ：「ダダ」デザイン開発部長；  
パオラ・アントネッリ：「MoMA」建築デザイン部門シニア・デザイン・キュレーター；  
ジョバンニ・アンツァーニ：「Poliform」CEO、イタリア家具協会会長；  
グイード・チェッキ：ドーンブランクト・イタリア 社長；  
ハンス・フォンク：「Objekt マガジン」エディター；  
ラウレッタ・コズ：コリエレ・デッラ・セーラ ジャーナリスト；  
パオロ・カルリ：アンロー社長；  
ペドロ・パウロ・フランコ：サローネサテリテ デザイナー

キッチンとバスルーム、それぞれの部門から 3 点ずつが選ばれ、賞金とプレスオフィスとコンサルティングのサービス、受賞作品のメディアなどへの普及が約束されます。  
授賞式：4 月 13 日 15:00 サローネサテリテ アリーナにて



今年で2回目となる「**Re-Construction - the house of possible work**」(再建-仕事ができる家)は、2006年に始まったプロジェクトで、ローディー病院メンタル・ヘルス科で始まり、他人とのコミュニケーションに困難を抱える重度の精神障害を煩う患者に、社会参加を促す新しいフォルムを提案。プロジェクトはオープンスペースにてデザイン・ワークショップを開催、仕事ができる家の模型を展示、新しいデザインのメソッドにより患者への提案をします。

4月15日(金)17:00 アリーナにて、第3回リーバ1920 デザイン・アワード授賞式が開催されます。

**運営委員:**

ロベルト・ズナイデロ:Salone del Mobile.Milano 社長

ジョバンニ・アンツァーニ:ポリフォルム CEO、イタリア家具協会会長

ジルダ・ボイヤルディ:インテルニ ディレクター

ミケーレ・デ・ルッキ:建築家

テリー・ドゥワン:建築家

マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー:サローネサテリテ キュレーター

**ADI (イタリア工業デザイン協会)**

今年もサローネサテリテはADIと提携し、希望者にはイタリア国内において特別に作品のデザインの保護をサポートします。

**サローネサテリテ 2016 オンラインカタログ**

[www.salonemilano.it/manifestazioni/salone-satellite.html](http://www.salonemilano.it/manifestazioni/salone-satellite.html)

**「ラ・リナシェンテ」コラボレーション**

今年もミラノ・ドゥオモ広場の「ラ・リナシェンテ」内、デザイン・スーパーマーケットにて、2016年度出展作品の中から厳選された作品が9月からクリスマスまで店頭に並びます。

**サローネサテリテ 13-15 パビリオンへのアクセス**

会期中通して無料入場ができるのはカーゴ4番入場口。南口、プレスオフィスのあるサービスセンターよりのアクセスが便利。入場券保持者はエウロクチャーナ13-15パビリオンからのアクセスが便利です。